



子どもゆめ基金は、未来を担う夢を持った子どもの健全な育成の一層の推進を図ることを目的に、民間団体が実施する特色ある新たな取組や、体験活動等の裾野を広げるような活動を中心に、様々な体験活動や読書活動等への支援を行っています。



近年、社会が豊かで便利になるなかで、子どもたちの自然体験、社会体験、生活体験などの体験が減少している傾向にあります。「体験の風をおこそう」運動は、子どもの健やかな成長に、体験がいかに大切かを広く発信し、社会全体で体験活動を推進する機運を高める運動です。



学校や地域等における活動に対して支援する事業などを行っています。「早寝早起朝ごはん」に関する様々な取組を行う際には、是非、シンボルマークをご活用ください。ダウンロード方法など、詳しくは、「早寝早起朝ごはんコミュニティサイト」をご覧ください。



<私たちは青少年の自然体験活動を応援しています>

国立乗鞍青少年交流の家では、今年度下記の方々からご寄付をいただきました。なお、ご寄付をいただいた場合は、講堂入口やホームページ等で報告しております。

アダチ石油株式会社
(株)牛丸商店
(株)奥原建設
(株)蜘蛛手電気
(有)スポーツショップ イネ
太平ビルサービス株式会社
チアフルスポーツイングクラブ
中央電子工学(株)高山支店

(株)ディックナレッジテクノ
(株)トータルサービス
トーヨー事務機(株)
(株)日晴リネンサプライ
橋本機器サービス
(有)ビーアールサービス
飛騨建設(株)
飛騨高山スキー学校

(株)斐太パックス
(株)洞口設備工業
(有)マイスポーツハウス
(株)マルエイ高山営業所
(株)柳瀬電気

平成 28 年 2 月現在 ※50 音順 敬称略



自然・体験



独立行政法人 国立青少年教育振興機構

国立乗鞍青少年交流の家

〒506-0815 岐阜県高山市岩井町 913-13
TEL(0577)31-1011 FAX(0577)31-1025
URL <http://norikura.niye.go.jp>



平成 25 年 6 月 14 日、第 2 期の「教育振興基本計画」が閣議決定され、その中で、「1. 社会を生き抜く力の養成」「2. 未来への飛躍を実現する人材の養成」「3. 学びのセーフティネットの構築」「4. 絆づくりと活力あるコミュニティの形成」という 4 つの基本的方向性が示されました。この中で、特に「社会を生き抜く力の養成」は、社会が激しく変化する中で自立と協働をはかるための能動的・主体的な力であるとされています。

このような基本的な方向性を踏まえ、当機構では、「体験活動を通して青少年の自立」を目指して、幼少期から青年期までの各年齢期に必要な様々な体験活動の機会を青少年に提供していくこととしており、関係機関・団体と連携・協力しながら事業を進めてまいりました。

ここに平成 27 年度の教育事業報告書を作成しましたので、当所の事業を広く普及に努めるとともに、貴所管の施設や事業にもご活用いただき、忌憚のないご意見やご指導を賜れば幸いに存じます。

また、当所は開所以来 40 年を越え、自然体験活動、社会活動体験、生活文化体験の場を、職員一同が創意工夫と不断の努力によって、より良い研修の機会を提供できるよう環境整備にも努める所存であります。

今後とも、当所の事業運営につきまして、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 28 年 3 月

独立行政法人国立青少年教育振興機構
国立乗鞍青少年交流の家
所長 徳永 章 人



平成27年度 教育事業一覧

春

- ◆ 高校生自然体験活動ボランティアリーダー養成セミナー
5月2日(土)～3日(日)
- ◆ セカンドスクール・自然教室指導者研修会
第1回 5月16日(土)～17日(日)
- ◆ わくわく!のり森ランド～家族の絆プロジェクト～
第1回「新緑の森」 5月23日(土)～24日(日)



- ◆ 自然体験活動ボランティアリーダー養成セミナー
第1回 9月21日(月)～26日(土)
- ◆ 自然体験活動ボランティアリーダー養成セミナー
第2回 10月4日(日)～9日(金)
- ◆ アセアン加盟国中学生招聘交流事業
10月20日(火)～30日(金)
- ◆ わくわく!のり森ランド～家族の絆プロジェクト～
第3回「秋の森」 10月24日(土)～25日(日)



夏

- ◆ ホップ!ステップ!キャンプ!～翔び出せ!のりくらの大自然へ!～
第1回「夏ののりくら」 6月27日(土)～28日(日)
- ◆ わくわく!のり森ランド～家族の絆プロジェクト～
第2回「初夏の森」 7月11日(土)～12日(日)
- ◆ 教科・特別活動に活かせる体験活動(免許状更新講習)
7月29日(水)～30日(木)
- ◆ 能登・乗鞍 全カキャンプ 海・山 My Challenge!
8月2日(日)～12日(水)【10泊11日】
- ◆ セカンドスクール・自然教室指導者研修会
第2回 8月11日(水)～12日(木)



冬

- ◆ ホップ!ステップ!キャンプ!～翔び出せ!のりくらの大自然へ!～
第2回「冬ののりくら」 1月23日(土)～24日(日)

わくわく！のり森ランド

～家族の絆プロジェクト～

◆事業の概要◆

幼児期の子育てを行なう家族対象の事業です。自然教育を行っている先生方を講師に、「五感」を使って自然を味わい楽しむことを学びます。また、家族で同じ自然体験をすることによって、絆も強くなります。

新緑の森



森の精への手紙を書きました。夜の森で燃やします。



手作りブランコを楽しみました。



ヨモギ入りのおやつを作りました。

初夏の森

「森のハイキング」では、目印を探しながら森を散歩しました。



2日目、革でカモシカを作ったり、竹で水鉄砲を作ったりしました。水鉄砲作りはむずかしかったけれど、水が飛んだときはとてもうれしかったです。

手づくりウォーターライダーで遊びました。おもしろかった！



夜、スカイランタンを見ました。



第1回 「新緑の森」 5月23日(土)～24日(日)

参加者 11家族 37名

講師 坂本 均氏(ノーム自然環境教育事務所)

第2回 「初夏の森」 7月11日(土)～12日(日)

参加者 12家族 38名

講師 加藤 春喜氏・竹田真佑美氏(トヨタ白川郷自然学校)

第3回 「秋の森」 10月24日(土)～25日(日)

参加者 12家族 36名

講師 加藤 春喜氏(トヨタ白川郷自然学校)

◆基本プログラム◆

	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
1日目					開講式	アイスブレイク	昼食	大自然を親子で楽しもう①			親子の時間(自由時間)		読み聞かせ	お月さん(自由参加)		親子の時間(自由時間)	
											夕べのつどい 17:00 食事 17:20～18:30 入浴 16:00～22:00		子育て座談会			就寝	
2日目	起床	朝のつどい 7:00 清掃 7:20～7:40 朝食 7:40～9:00	大自然を親子で楽しもう②			昼食	親子でふりかえり「森はいいなあ」		閉講式								

秋の森

初参加のご家族さんが多く、大満足のご様子でした。



素敵な音が出てびっくりでした…



落ち葉布団はふわふわでした…



ホコホコの焼きいもは最高でした。

〈参加者のことば〉

- 人見知りのうちの子が初めて会った子と仲良く友達になれて、遊んでいて嬉しかった。
- ブランコや焚き火がよい体験で自分自身も楽しかったです。
- 普段見られない子供の笑顔や生き生きとした姿を見ることができた。

〈まとめ〉

はじめて行うような様々な自然体験を、家族や他の家族で行ったことで、交流が広がりました。普段の生活では見られないわが子の積極的な姿に驚いていました。

読み聞かせの時間



夜の子育て座談会



ホップ！ステップ！キャンプ！

～飛び出せ！のりくらの大自然へ！～

◆事業の概要◆

- 様々な課題を抱える小・中高生を対象にした1泊2日の事業です。
- 仲間やボランティアと協力しながら、自然の中で生活することにより、信頼感を育みます。
- 様々な活動プログラムを行うことにより、自己肯定感や達成感が得られます。
- ボランティアの皆さんには、事前の学習会に参加して頂きます。これらが、彼らの明日への活力となるように企画・実施しました。

6月：夏ののりくら

仲良くいっしょに
がんばりましょう！
みなさんよろしく
おねがいします。

ここは、男の子たちのでっかい
テントだよ。
シュラフの準備をしています！

何をのせると
おいしかなあ…



力を合わせてがんばるぞ！
なた使いとのごぎり使いの
体験をしました。
これで、ピサがやけるぞ～～！

むずかしいけれども、
がんばるぞ～。

アドバイザーの平田さんより…
みんながとっても楽しそうに
活動していましたね。私も笑
顔になれましたよ。

林です。



石井です。



第1回 「夏ののりくら」

6月27日(土)～28日(日)

参加者 小・中学生 12名

講師 林 廣茂 氏

(高山市教育研究所 適応指導教室であい塾 教育相談員)

石井 充子 氏

(飛騨慈光会児童養護施設夕陽ヶ丘施設長)

平田美知枝 氏

(社会福祉法人飛騨慈光会理事 アドバイザー)

第2回 「冬ののりくら」

1月23日(土)～24日(日)

参加者 小・中高校生 19名

講師 林 廣茂 氏

(高山市教育研究所 適応指導教室であい塾 教育相談員)

石井 充子 氏

(飛騨慈光会児童養護施設夕陽ヶ丘施設長)

◆基本プログラム◆

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
1日目						小中高生 迎え	受付	開講式	活動①-1 活動①-2 ホップ!	タベのこい	夕食	活動②ステップ!	入浴	就寝準備				
2日目	起床	朝のついで	朝食	片付け	活動③ジャンプ!	昼食 片付け	ふりかえり 閉講式	解散 小中高生 送り	ボランティア 送り									

1月：冬ののりくら

てっぺんまで
がんばるぞお～

安全第一だからね…

始まりの会



身長の高さまで
つむぞ！



マイナス 15℃



楽しい時間を
ありがとうございました。

〈まとめ〉

事業が終わった時の子どもたちの声を紹介します。

- 「みんなでテントに泊まるのもいいなあと思いました。真っ暗になるとなんだかワクワクしました。」
 - 「ピザ作りがとても楽しかったです。ダッチオーブンから焼き上がってくるピザを見ると嬉しかったです。」
 - 「ボランティアさんがとてもやさしく助けてくれました。一緒に遊んでくれて嬉しかったです。」
 - 「雨のためキャンプファイヤーができなくて残念でした。来年はできるといいです。」
- 充実感や満足感が感じられる声がたくさん聞こえてきました。ボランティアもたくさん参加してくれました。

能登・乗鞍 全力キャンプ

海・山 My Challenge!

◆事業の概要◆

10泊11日の長期宿泊活動の中で、北アルプス樺沢岳(標高2,755m)登山、サイクリング(約187km)を実施しました。国立能登青少年交流の家とともに主催し、富山県砺波青少年自然の家、石川県立能登少年自然の家とも連携し、登山・サイクリングの他にも各施設で特色ある活動を行ないました。



登山

全行程素晴らしい天気の下、北アルプスの樺沢岳に登頂しました。



野外炊事 ジップライン

協力してつくったカレーの味は格別です。



サイクリング

富山県の庄川に沿って日本海を目指す。



大型カヌー レクリエーション

全員で協力しながらカヌーに乗りました。



石川県能登半島を北上。最後は全員、最先端の禄剛崎に全員到着!



〈まとめ〉

山小屋2泊の本格的な登山と長距離サイクリング(約187km)を行う10泊11日の長期キャンプでした。子ども達は日常生活では味わうことができない体験を通して、友情を育むと共に、毎日のプログラムに積極的に取り組む逞しさと忍耐力を身につけ、全員が最終目的地である能登半島最先端の禄剛崎にゴールしました。全力を出して物事に取り組むという経験は、今後の生活に大きく生かされるものと思います。

8月2日(日)～8月12日(水)【10泊11日】

参加者 石川県・岐阜県・新潟県・茨城県の小学校5,6年生

18名(石川県10名、岐阜県6名、新潟県1名、茨城県1名)

樺沢岳登山

講師 島田 靖 氏(公益社団法人 日本山岳ガイド協会)

◆基本プログラム◆

	活 動		宿 泊
	午 前	午 後	
1日目 8月2日(日)		開講式(国立乗鞍青少年交流の家) アイスブレイク・登山指導	国立乗鞍青少年交流の家
2日目 8月3日(月)	登山 (新穂高バスターミナル～わさび平小屋)		わさび平小屋
3日目 8月4日(火)	登山 (わさび平小屋～双六小屋)		双六小屋
4日目 8月5日(水)	登山 (双六小屋～樺沢岳山頂～双六小屋～鏡平～新穂高バスターミナル)		国立乗鞍青少年交流の家
5日目 8月6日(木)	バス移動 (国立乗鞍青少年交流の家～ 富山県砺波青少年自然の家)	ジップライン・野外料理 (富山県砺波青少年自然の家)	富山県砺波青少年自然の家
6日目 8月7日(金)	サイクリング(約48km) (富山県砺波青少年自然の家～氷見市立灘浦中学校)		富山県氷見市立灘浦中学校
7日目 8月8日(土)	サイクリング(約62km) (氷見市立灘浦中学校～穴水町立穴水中学校)		石川県穴水町立穴水中学校
8日目 8月9日(日)	サイクリング(約43km) (穴水町立穴水中学校～石川県立能登少年自然の家)		石川県立能登少年自然の家
9日目 8月10日(月)	大型カヌー体験 (石川県立能登少年自然の家)	ふりかえり・レクリエーション (石川県立能登少年自然の家)	石川県立能登少年自然の家
10日目 8月11日(火)	サイクリング(約34km)(石川県立能登少年自然の家～禄剛崎)	バス移動 (禄剛崎～国立能登青少年交流の家)	国立能登青少年交流の家
11日目 8月12日(水)	閉講式 解散		

後援：高山市、石川県・岐阜県・富山県・愛知県・長野県の名教育委員会・高山市・飛騨市・下呂市・白川村の名教育委員会
社会福祉法人 高山市社会福祉協議会

協力：富山県砺波青少年自然の家、石川県立能登少年自然の家、双六観光有限会社

文部科学省委託事業
アセアン加盟国中学生招聘交流事業

事業の概要

アセアン諸国で日本に興味関心のある中学生を招聘し、独立行政法人国立青少年教育振興機構がもつ地方教育施を中核とした周辺連携機関との協力から地域の特性を生かした自然体験、文化体験、日本の青少年との交流体験を行い、日本の理解を図ることをねらいとしています。また、日本の青少年に対して、アセアン諸国の中学生との交流体験を通して国際的視野の醸成を図るとともにアセアンとのパートナーシップを育成し、東アジアの中核を担う次世代リーダーを養成することを目的として開催しました。



白川郷見学



中学校交流会



農業体験



郷土食作り



日本人中学生との交流



古い町並み散策



ホームステイプログラム



新穂高散策



花餅づくり

まとめ

本年度はインドネシア、ベトナム、フィリピンの3カ国の中学生18名が来日し、高山市に8日間滞在しました。乗鞍青少年交流の家を拠点とし、白川村立白川中学校へフィリピン、高山市立宮中学校へインドネシア、高山市立久々野中学校へベトナムの中学生がそれぞれ訪問し、各校で授業等に参加し日本人中学生と様々な交流を図りました。学校での交流に加え、農業体験や郷土食作り自然散策など、飛騨ならではの体験を通して日本の伝統文化にも触れることができ、充実した研修となりました。後半の東京プログラムでは、各国が今後どのようにパートナーシップを進めていくべきかそれぞれの立場でプレゼンテーションを行いまとめました。

平成27年10月20日(火)～30日(金)

参加者 インドネシア共和国 中学生6名、引率者1名
フィリピン共和国 中学生6名、引率者1名
ベトナム社会主義共和国 中学生6名、引率者1名
高山市立宮中学校 高山市立久々野中学校 白川村立白川中学校

基本プログラム

Table with 4 columns: Day, Time, Activity, and Location/Remarks. It details the schedule from October 20th to 30th, including travel, meetings, cultural activities, and a final evaluation session.

後援：高山市、岐阜県・愛知県・富山県・長野県・高山市・飛騨市・下呂市・白川村の各教育委員会、高山市社会福祉協議会
協力：高山市小中学校校長会、中学校PTA代表、飛騨・世界生活文化センター、飛騨高山乗鞍高原連絡協議会

高校生自然体験活動 ボランティアリーダー養成セミナー

5月2日(土)～3日(日) 参加者 30名(高校生)

◆事業の概要◆

自然体験活動の理論や技術、ボランティア活動の意義や青少年教育施設におけるボランティア活動について学習することで、自然体験活動の楽しさを伝えることができる高校生を育てるとともに、青少年教育施設におけるボランティア活動をリードできる人材の育成を図ることを目的に開催しました。

	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
1日目							受付 12:30～ 開講式	【講義】(1.5) ・青少年教育施設におけるボランティア活動の意義と役割	【講義】(1.5) ・ボランティア活動の意義と役割		入所OR	夕食 入浴		【講義】(1.5) ・青少年教育施設におけるボランティア活動	【講義】(1) ・青少年教育施設の教育機能とその役割	翌日 準備	就寝
2日目		【実習】(0.5) ・朝のつどい ・清掃活動	朝食	【講義・実習】(3) 安全対策と 危険回避 (救急救命含む)	【講義・実習】(4) ・野外炊事の基礎技術とその指導(昼食:焼きそば等)		閉講式									翌日 準備	就寝



○未知の世界を知ることや実際の体験をとおして技術を身につけることに学ぶ喜びを感じていました。

〈高校生の感想〉

- ・ボランティア活動の自発性・社会生・無償制について勉強しました。
- ・ボランティアは、自分とその周りの人全員の幸せだということがわかりました。
- ・とても温かい心になれた気がします。



〈まとめ〉

ボランティア活動の良さや大切さをしり、自ら進んでかわっていかうとする意欲を高めることができました。また、自分たちの日頃の姿を振り返りながら、体験不足を自覚するとともに、いろいろな体験が自分を成長させていくきっかけとなるとことを理解することができました。



後援：高山市、岐阜県・愛知県・富山県・長野県・高山市・飛騨市・下呂市・白川村の各教育委員会、高山市社会福祉協議会
協力：飛騨高山乗鞍高原連絡協議会

自然体験活動ボランティア リーダー養成セミナー

第1回 9月21日(月)～26日(土) 参加者 18名

講師：高田 研氏(都留文科大学教授)、室屋 宏平氏(飛騨教育事務所 教育支援課)等

第2回 10月4日(日)～9日(金) 参加者 12名

講師：小峯 力氏(中央大学教授)、平井 康太郎氏(飛騨教育事務所 教育支援課)等

◆事業の概要◆

自然体験活動の理論や技術を学習するとともに、小学校の自然体験活動プログラムの企画及びボランティア体験活動に参加することを通して、子どもたちに自然体験活動の楽しさや喜びを伝えることができる青年の育成を図ることを目的に開催しました。

	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
1 日目							12:10～ 受 付	開 講 式	【講義】 体験活動の意義と 青少年教育施設の 役割(機能) 1.5		入 所 O R	夕 食 入 浴	【講義】自然体験活動 リーダー・ボランティアに 求められるもの 0.5 【実習】安全対策と 危険回避 2.0			翌日 準備	就寝
2 日目	起 床 朝のつどい 清 掃 朝 食		【講義】 発達段階に応 じた体験活動 の必要性と教 育課程 1.5		【講義・実習】 ・野外炊事の基礎技術と 指導法 2.0 ・安全対策 1.0			【講義・実習】 ボランティア活動の心構 えと青少年教育施設にお ける活動内容【フィールド 調査含む】 (意義 1.0+理解 1.5)		夕 べ の つ ど い		夕 食 入 浴	【実習】 プログラム企画と 準備 2.0		翌日 準備	就寝	
3 ～ 5 日目	起 床 朝のつどい 清 朝 食			セカ ン ド 開 校 式	【実習】 プロ グ ラ ム 指 導	昼食		【実習】 プロ グ ラ ム 指 導 (リ ー ダ ー 体 験)		担 任 と の 打 合 せ		夕 べ の つ ど い	【実習】 児 童 の 生 活 指 導 (夕 食・入 浴)	【実習】 プロ グ ラ ム 指 導 (リ ー ダ ー 体 験)		【実習】 反省会	就寝
6 日目	起 床 朝のつどい 清 朝 食		【実習】 プロ グ ラ ム 指 導 (リ ー ダ ー 体 験)		セカ ン ド 開 校 式	昼食		ふ り 返 り	閉 講 式								



〈参加者のことば〉

参加初日は、あまり意欲的になれませんでした。しかし、ボランティアの仲間や高山市セカンドスクールに参加した子供たちと出会うことで、私ができることを精一杯頑張りたいと思うようになりました。最後は、子供たちの感謝の言葉に涙が止まりませんでした。このセミナーで自信ができました。参加して本当によかったです。

〈まとめ〉

高山市のセカンドスクール(宿泊自然体験活動)に参加する小学校の子供たちに野外炊飯やネイチャーゲームの指導を行うために、ボランティアの学生は、講義で学んだことに加え、夜遅くまでかけ指導のための準備を行いました。誰かのために誠実に取り組んだ先に、心の豊かさと信頼、そして自信が生み出され、青年に有益な時間となりました。

後援：高山市、岐阜県・愛知県・富山県・長野県・高山市・飛騨市・下呂市・白川村の各教育委員会、高山市社会福祉協議会
協力：飛騨高山乗鞍高原連絡協議会

セカンドスクール・ 自然教室指導者研修会

第1回 5月16日(土)～17日(日) 参加者 21名(小・中学校の教員)
第2回 8月11日(火)～12日(水) 参加者 14名(小・中学校の教員)

◆事業の概要◆

自然体験活動の理論や実践についての講習を通して、自然体験活動の知識や技術を習得し、学校教育における自然体験活動プログラムの企画・立案等を行い、子どもたちに自然体験活動の楽しさや喜び、学びを伝える指導者の養成を図ることを目的に開催しました。

	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
1日目			1日目受付 9:00～ 開講式	危機管理 等			・食材オリエンテーリング ・野外炊事(カレー・焼きそば) ・登山及びハイキング ・各種クラフト&工具解説				入所 OR 夕べのつどい	夕食 入浴		・キャンプ ファイヤー ・キャンドルの つどい ・星空観察 など		翌日 準備	就寝
2日目	起床のつどい 清掃 朝食		2日目受付 9:00～	危機管理 等		・食材オリエンテーリング ・野外炊事(カレー・焼きそば) ・登山及びハイキング ・各種クラフト&工具解説				閉講式 ふり返し 解散							



〈参加者のことば〉

研修会に参加して子供たちに何を体験させることが大切かがよくわかりました。やっぱり実際に指導者が体験しその体験の価値を把握することが重要だということがわかりました。また、安全への配慮がよくわかりました。これで、自信を持って子供たちへの指導を行うことができます。

〈まとめ〉

昼間のプログラムに積極的に取り組みご理解をいただきました。さらに、宿泊することで、夜のプログラムや「朝のつどい」「夕べのつどい」についてもご理解をいただいたことで、セカンドスクール(小学生宿泊自然体験活動)本番は、活動の最中に先生方が指図する指導ではなく、子供たちが主体的に動く姿が多くみられました。

後援：高山市、岐阜県・愛知県・富山県・長野県・高山市・飛騨市・下呂市・白川村の各教育委員会、高山市社会福祉協議会
協力：飛騨高山乗鞍高原連絡協議会

教科・特別活動に活かせる体験活動 (教員免許状更新講習)

7月29日(水)～30日(木) 参加者 22名
講師：井上 透氏(岐阜女子大学教授)、国立乗鞍青少年交流の家 企画指導専門職 等
主催：岐阜女子大学
共催：独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立乗鞍青少年交流の家

◆事業の概要◆

教員が自然体験活動の意義について理解するとともに、児童・生徒の集団宿泊活動を効果的に実施するための基本的な体験活動指導技術を身に付ける。また、学習指導要領における体験活動の取扱いを理解し、カリキュラムの編成や教育活動に体験活動を取り入れる方法を講義や実習を通して習得することを目的に開催しました。

※内容：「教科指導、生徒指導その他教育の充実に関する事項」(選択 12 時間)

領 域	内 容 と 形 態	時 間	講 師
教育の課題に関する理解と対応	学校教育における体験活動の意義 【講義】	1.5	岐阜女子大学 教授 井上 透
	学級経営に活かす体験活動Ⅰ 【講義】	1.0	国立乗鞍青少年交流の家 事業推進室長及び企画指導専門職
	学級経営に活かす体験活動Ⅱ 【演習】	2.5	国立乗鞍青少年交流の家 事業推進室長及び企画指導専門職
体験活動に関する理解と技能の習得	体験活動中の安全対策 【講義・実習】	1.5	岐阜女子大学 教授 井上 透
	スコアオリエンテーリングの基礎技術とその指導 【実習】	1.5	国立乗鞍青少年交流の家 事業推進室長及び企画指導専門職
	野外炊事の基礎技術とその指導 【実習】	2.0	国立乗鞍青少年交流の家 事業推進室長及び企画指導専門職
履修認定試験		2.0	岐阜女子大学 教授 井上 透

※日程

	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
1日目 7.0h					受付・開講式	【講義】 学校教育における体験活動の意義	昼食	【講義】 学級経営に活かす体験活動Ⅰ	【演習】 学級経営に活かす体験活動Ⅱ	【評価】 履修認定試験	夕食	施設 使用 説明	【講義・実習】 体験活動中の安全対策		入浴 翌日 準備	就寝	
2日目 5.0h	起床のつどい 清掃 朝食			【実習】 スコアオリエンテーリングとその指導	【実習】 野外炊事の基礎技術とその指導		【評価】 履修認定試験	閉講式									

